



第17-34号

2017年9月6日

## 「小田急電鉄健康経営宣言」制定のお知らせ

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）では、健康管理を経営的な視点で考え、社員の健康保持と増進を推進するため、「健康管理から疾病を未然に防ぐための健康支援へ」をスローガンに健康経営に積極的に取り組んでいくこととし、2017年9月4日（月）「小田急電鉄健康経営宣言」を制定いたしましたのでお知らせします。

### 1. 小田急電鉄健康経営宣言

お客さまの「かけがえのない時間（とき）」と「ゆたかな暮らし」の実現に貢献するためには、さまざまな個性や能力を持つ社員が心身共に健康でいきいきと働くこと、また、社員を支える家族も健康であることが、何よりも重要であると考えます。

この考えの下、小田急電鉄は社員と家族の健康保持・増進に組織的かつ積極的に取り組み、お客さまに日本一安全で快適な鉄道としてご利用いただけるよう、また小田急沿線で豊かな暮らしを実現していただけるよう、社会に貢献してまいります。

### 2. 具体的な取り組み

従来から行ってきた健康診断結果に基づく健康管理に加え、社員の健康保持・増進といきいきと働くために必要な社員相互のコミュニケーションの活性化を実現するために、年間を通して以下の重点施策に取り組んでまいります。

#### ■健康の保持・増進の取り組み

##### ①職場健康支援活動の実施

健康管理センタースタッフ（産業医・看護師）が「生活習慣病予防」「鉄道係員適性維持」「メンタルヘルスケア」という3テーマを定め、現業および本社の全70職場を対象に年間300回以上職場に赴き、健康保持・増進に向けた情報の提供と実践指導を行います。

##### ②個別健康支援活動の実施

鉄道係員のうち、心身の健康状態の維持が高く求められる運転士に対し、「睡眠時無呼吸検査」「血圧」「体重」などの経年変化が分かるデータを用い、健康管理センタースタッフ（看護師）が個々人に合った運動・食事等の生活習慣について指導を行います。

### ③メンタルヘルス対策の実施

新入社員をはじめ異動・昇格等により大きな環境変化が生じる社員に対し、健康管理センタースタッフ（臨床心理士）による「セルフケア研修」を実施します。また、全ての管理職および管理職代行者に対して、人事部安全衛生担当ならびに健康管理センタースタッフ（臨床心理士）によるケースワークを含めた「ラインケア研修」を実施します。

加えて、法令により義務化された「ストレスチェック」を全社員対象に毎年10月に実施するほか、その結果についても健康管理センタースタッフ（産業医）が詳細な分析を行い、各職場毎にフィードバックを行うなど「快適な職場づくり」を推進します。

### ④生活習慣病予備群の減少に向けた取り組み

社員の健康診断結果を踏まえ、健康管理センタースタッフ（産業医）がメタボ率などの健康指標について分析し改善策を検討するほか、小田急グループ健康保険組合においても生活習慣病の発症リスクが高い社員を対象に、生活習慣を見直す特定保健指導を行うなど、疾病を未然に防ぐための1次予防活動に積極的に取り組みます。

## ■社内コミュニケーション活性化の取り組み

### ①経営層による現業巡視ならびに情報交換会の実施

経営層と社員とが垣根なく意見交換を行い、働きやすい職場環境を構築することを目的として、年2回、鉄道現業や新宿ミロードをはじめとした各商業施設に対して社長ならびに各事業の担当役員が巡視、情報交換会を行います。

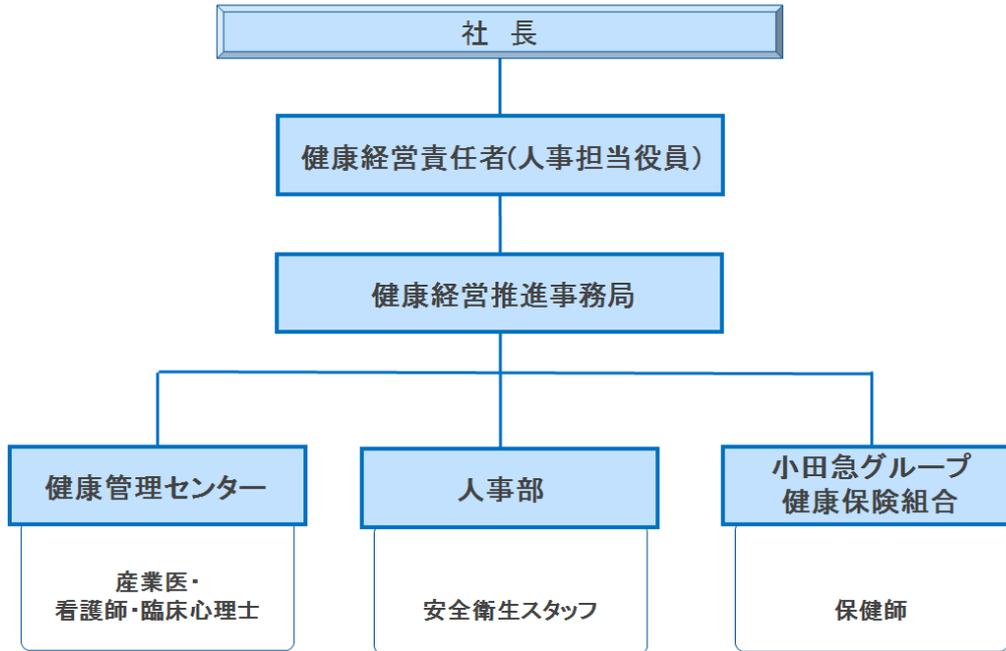
また、本社においては社長と各部署に所属する社員との間で座談会を実施し、会社の方向性はもとより、職場で生じている課題などについて活発な議論、情報交換を行う場を設けます。

### ②「Odakyu Friendship Festival（運動会）」の開催

社員と家族の健康保持・増進はもとより、部門横断的な交流や役員・社員、また上司・部下間の交流を深め、組織としてより一体感を生み出すことを目的とした複合イベント「Odakyu Friendship Festival」を2年に1度開催します。

## 3. 各種施策の推進・検証体制

経営層と健康経営推進事務局（人事部・健康管理センター・小田急グループ健康保険組合）が連携し、上記の各種施策を鋭意推進・検証するために以下の体制を確立します。なお、人事担当役員を「健康経営責任者」に選任します。



#### 4. 健康保持・増進施策の実施状況

テーマ	取り組み内容	指 標	2015 年度	2016 年度
生活習慣病の 1次予防と 鉄道係員の 適性管理	職場健康支援活動 (全社員) ※年間3テーマ実施	実施職場数	69 職場	70 職場
		実施率	100%	100%
	個別健康支援活動 (運転士)	対象者数	—	485 人
		実施率	—	100%
メンタル ヘルスケア	ストレスチェック	受検率	94.1%	94.9%
		職場ごとの集団分析実施職場数	60 職場	61 職場
		実施率	98.4%	98.4%
	ラインケア研修	受講者数	115 人	394 人
		実施率	100%	100%
	セルフケア研修	受講者数	269 人	297 人
実施率		100%	100%	

以 上